■サンキューセミナー「結核の根絶に活かす日本の経験〜結核のない世界を実現するために〜」

■2019年5月24日開催（日本リザルツ東京事務所）

■講師　結核予防会結核研究所名誉所長　石川信克氏、結核予防会審議役　竹中伸一氏

■講演内容

日本で結核感染が減った原因はどこにあるかについて、石川氏は「社会の発展やユニバーサルヘルスカバレッジ達成のみではなく、結核対策を実施したからである。日本はまず法律をつくり、予防接種を実施し、治療費を無料化した。そこには政府の強いコミットメントがあった」と説明。日本の経験を世界で活用するためには「経験を背景まで含めて分析することが大切である。患者を徹底的に（完治する）最後まで追うことにより、疾病対策のモデルを提供できる。同時に研究開発を進めることが大切である」とした。一方、竹中氏は「コモンアジェンダを見つけるためには、誰が権限を持っていて、どこに関心があるのかを見定めることが重要である」と説明した。